

あ と が き

今号は韓国の漢陽大学の朴先生から寄稿を頂きました。韓国における今日の腎不全の現況がよく理解できると思います。漢陽大学はソウルの南部に属し、韓国の腎臓病学のメッカであります。朴 漢喆教授は漢陽大学の内科の教授であり、同大学外科学教授の郭 鎮榮先生と透析・腎移植に積極的にとりくまれております。とくに朴先生は今年の韓国腎臓病学学会会長を務められ、多忙の中から余暇を割いて寄稿して頂きました。この寄稿にあたりここまでこぎつけるまでに多大の労を惜しまれず仲介をして頂いた医療法人偕行会名古屋共立病院理事長 川原弘久先生と翻訳を頂いた高宮貞郷氏に深甚なる謝意を申し上げる次第であります。

編集責任者 太田 裕 祥